

平成21年度

時間外電話相談

「育児もしもしキャッチ」

—相談情報分析結果報告—

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成13年11月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、県民の健やかな子育てを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」（以下、「育児もしもしキャッチ」）を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日まで開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成15年5月より火曜日から土曜日に相談日を開設している。

「育児もしもしキャッチ」

主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児について
開設日時	火曜日から土曜日 午後5時から午後9時まで（4時間）
相談担当者	保健師、助産師、看護師等の専門相談員が、毎回2～3人で対応
相談体制	当センターの保健師1名が相談終了まで勤務する体制をとり、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の住所、相談経路は聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。

【分析対象・方法】

平成21年4月1日から平成22年3月31日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

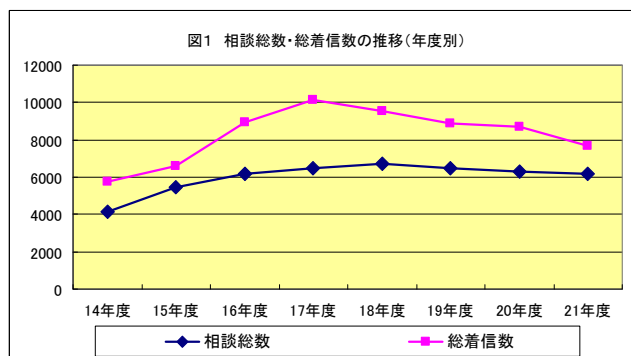
【結果】

1 相談総数・総着信数について

期間中の相談総数は6,153件、総着信数（電話に応答中のため応答できなかった件数をあわせたもの）は7,703件であった。

相談総数は昨年度より141件減少しているが、平成17年度からはほぼ横ばいである。

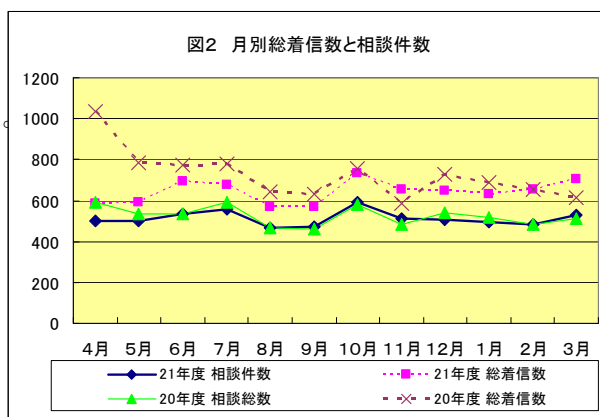
未着信は1,550件で昨年度の2,381件より831件減少しており、平成17年度をピークに減少してきたが、依然として県民のニーズを充足できていない状況が続いている（図1）。総着信数の減少については、今後、理由を分析していく必要がある。



月別の相談総数・総着信数の推移は、図2のとおりである。月別の最多相談件数は10月の591件であった。

1か月平均相談件数は512.8件であった。

新型インフルエンザの影響が懸念されたが、20年度の件数推移と著変はなかった。



2 地域・経路について

(1) 利用者の居住地について

相談者の居住地が把握できた5,965件を分析した。相談は県下全域から寄せられおり、市町村別では、名古屋市からの相談件数が997件と最多で、以下、豊田市、岡崎市、大府市、一宮市と続いた。出生1,000に対する割合をみると、大府市の278.1、清須市233.9であった（資料：表1）。

(2) 経路について

相談全体では「利用経験あり」が51.7%で最も多かった。「利用経験あり」は相談を開設した平成14年度（平成13年11月から15年3月、以下同じ）は2.2%であったが、その後年々増加し、平成18年度以降、ほぼ横ばいとなっている。初回相談者は市町村（保健福祉）からが15.0%、母子手帳からが11.8%で初回相談者の半数を占めていた。これには市町村等の協力を得て配布している「案内カード」が役立っている（資料：表2）。

なお、「案内カード」については、名古屋市を含む県内61市町村（平成21年4月現在）中、30市町村が母子手帳交付時に、18市町村が乳幼児健診で全員に配布されており、その他自由に持ち帰ることができるよう設置してある等、活用していない市町村はなかった。

3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者（電話をかけてきた人）の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門家、その他と分類しているが、母からの相談が92.4%と最も多かった。（資料：表3）。

相談対象者は「子ども」が5,828件（97.7%）で最も多く、「孫、姪、甥」の24件（0.4%）を加えた「子ども」の相談は5,852件（95.1%）であった。「母本人」の相談は288件（4.6%）であった（資料：表4）。

相談対象者の年齢では、0歳が28.2%と最も多かったが、不明が多かったことを踏まえてみても、昨年度までの40%以上を下回る割合であった。0歳に次いで、1歳が19.5%、2歳が12.8%と、年齢が増えるに従い減少していた（図3-1）。

乳児期（0歳）の中で最も件数が多かったのは2か月であり、4か月を境に減少している（図3-2）。

1) 「子どもの病気、手当て」 2,714 件 (44.1%)

現在起きているかぜや消化器、皮膚症等について、具体的な手当てのアドバイス、受診の要否についての相談が多かった。

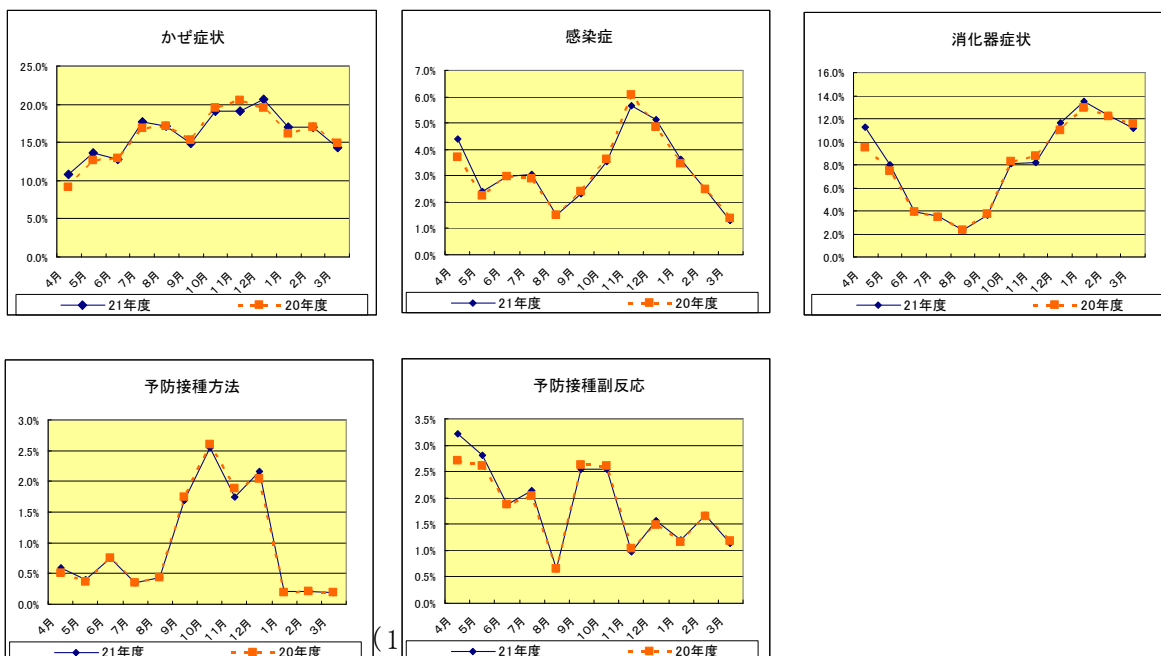
(相談例)

- 2 か月児、38.6℃あるがミルクも飲めて元気もあるがどうしたらよいか。
- 8 か月児、昨日から 38～39℃の発熱。本日、便が 3 回出たが 2 回目の便に点々と血液が混じっていた。早々、受診か。再診日を待つか。
- 1 歳 7 か月児、39.5℃の発熱。昨日一日中、NY からの帰国者（検疫で陰性）と接したが、大丈夫か。

受診するべきかどうかの判断を求めてくる相談が多い。「どのような状態になったら時間外受診してよいのか？」など、1 人で判断を迷っている母親の不安に答えている。また、「一度受診し服薬はしているが、熱が下がらない。」「坐薬を使って良いものか、迷っている。」など、受診後、回復してくるまでの見守りが不安な保護者からの相談も多く聞かれる。

電話で受診の要否を判断することは難しく、動揺している母に症状や受診状況等を出来るだけ冷静かつ具体的に聞き取り、総合的に判断し対応できるよう、相談員間での症例の共有も心がけている。

本年度は、5 月頃より『新型インフルエンザ』の流行が懸念され、各地域で「インフルエンザ相談窓口」「発熱外来」等が設置され、相談が多く寄せられたようだが、当センターでの相談においては、昨年度の相談状況に比べ大きな変化はなかった。



「誤飲・誤嚥」が 287 件 (38.1%) と最も多かった。また、事故相談全体で 1 歳未満の子どもについての相談が 230 件 (30.6%) を占めていた。

【誤飲したもの】

食品（古い食べ物、アルコール等）	45件
文具類（紙類、ビニール、風船、クレヨン、糊など）	44件
医薬品（消毒薬、軟膏、錠剤等）	43件
プラスチック（包装用品、玩具の一部等）	39件
生活用品（化学製品、防虫剤等）	33件
洗剤	20件
たばこ	12件
生活用品（非化学製品）	10件
電池	7件

・「食品」では「魚の骨が刺さった」が10件、「アルコールを飲んだ、飲ませた」が5件、「果実の種を飲み込んだ」が3件、「飴がつまった」が2件であった。

・「医薬品」では「軟膏類を舐めた」が15件、「家族の薬を子が飲んだ」が8件、「薬の量、回数などを間違い」が8件で服用回数を間違えて与えた、一度に数日分を飲んでしまったなど過剰摂取が多かった。

・「たばこ」ですぐに受診を勧めたものは、1cm程度食べた1件である。

・「電池」では「舐めた」が3件、「飲んだかもしれない」が4件であった。

「転落」は157件（20.9%）で椅子、家具、階段の順であった。事故相談時には、事故の起きた状況の振り返りと子どもの発達段階に応じた今後の事故の再発防止について伝えている。

3) 「家族・人間関係」523件（8.5%）

これまで、「日常生活」の方が、割合が高かったが、今年度は、「家族・人間関係」が3番目に多く、母自身の気持ちの問題に関わる相談が多かった。

「育児不安」が347件（66.3%）で最も多く、その内275件（79.3%）がこの電話相談について「利用経験あり」であった。様々な情報が容易に手に入り、子どもの発達障害等も早期発見・早期療育が勧められる中、年齢相応の発達をしても「発達障害では?」「こんなことができないのは、うちの子だけでは?」と不安やイライラを募らせている母も多い。また、うつ病などの精神的疾患を抱えながら育児に携わり、日々の子育ての中での細々としたことへの不安を訴えるケースも多かった。

次に「家族内の人間関係」が91件と多く、父が仕事で忙しく、育児に協力的でない夫との関係で母が孤立感を深めていたり、家族や親戚、近所の人間関係においてうまく立ち振る舞えず、疲れて大変さを訴えており、時間外電話相談では母の大変さに共感し、頑張りを認める役割があると思われた。

匿名性ではあるものの、相談者と相談対象者の年齢、相談内容、居住地等から同一と思われるケースの頻回な相談が寄せられていることも、「家族・人間関係」増加の一因と考えられる。

4) 「日常生活」469件（7.6%）

「泣き」についての相談が113件（24.1%）と最も多くみられた。

(相談例)

- ・ 1 か月児、ミルクを飲ませてもオムツを替えても泣き止まない。丸一日抱っこしていないといけない。
- ・ 6 か月児、夜泣きがひどく何回も起きる。母乳を飲ませて寝かせるが癖にならないか心配。今は育休中でもうすぐ仕事に出るが不安。
- ・ 1 歳 9 か月児、夜泣きがある。2 回起きてぐずって母乳を吸いに来る。母は特に辛くはないが周りから母乳を止めるように言われる。

また「睡眠」についての相談が 77 件と昨年度より 30 件余り多かった。1 歳児の夜間の寝つきや夜泣きと母乳、卒乳との関係の相談が多かった。

赤ちゃんはよく眠るものと言う思い込みもあり、寝かせられず、泣かせていることへの罪悪感や不安を強くしている。母が自分は赤ちゃんを泣かせるダメな母親と訴えることも多い。相談員はまず母の話をゆっくり聴き、母の対応を振り返り、十分な対応がされていれば「お母さんが悪いのではないよ。」と母のつらさや疲れをねぎらう。場合によっては、必要と思われる対応をすべて確認し、児の安全を確認したらその場から少し離れることも必要であると伝えている。そうすることで、母自身が落ち着いてくる場合も多い。

5) 「授乳」 405 件 (6.6%)

「授乳方法」に関する相談が 125 件 (30.9%) と多く、内容は授乳間隔や回数、授乳量のムラに関するものであった。授乳リズムが確立されていない時期に「まだ 3 時間ごとにならないのですが」という相談や「泣いたら母乳をあげるといわれたのでそうしているが、泣き止まない。」と 1 歳近くなり訴えるなど子どもの成長に合わせた授乳方法についての情報をできるだけ具体的に伝え、母の不安の解消に努めている。

(相談例)

- ・ 1 か月児、母乳の後にミルクを 120cc 足している。授乳は 6 回／日くらいで、体重増加は少なめ。ミルクを飲んでも泣くので量を増やしてもよいか。
- ・ 4 か月児、最近ミルクをあまり飲まなくなった。母乳は 6～7 回／日飲んでいる。ミルクを飲んでくれないと預けたい時に困るのでどうしたらよいか。

6) その他

「虐待・虐待予防」は 13 件 (0.2%) であった。精神科に通院している母や、母子家庭や DV、障害児、母自身に被虐待歴のあるものなど、育児支援が必要な家庭環境に複雑な課題を抱えるものばかりであった。匿名による相談のため、まずは相談者の訴えを受け止めることを基本にしている。必要と思われる場合は地域の相談機関を挙げて、訪問や面接相談などを強く勧めるようにしている。

6 相談結果について

電話相談は原則匿名で1回の相談での終了が前提となっているため、利用経験がある方も継続支援とはしていない。しかし緊急性が高く、地域での支援が必要と思われるケースについては、同意を得た上で地域の保健機関等への情報提供を行っている。

7 まとめ

- 1) 相談件数はこの4~5年はほぼ横ばいであるが、未着信数が今年度は1,550件と昨年度より800件余り減少した。が、身近で育児相談ができる保健センター、保健所等が閉庁した後に相談窓口を開設する意義は大きく、育児支援の一つとして保護者のニーズも高く、大きな役割を担っていると考えられる。
- 2) 利用者は母がほとんどであった。「子どもの病気、手当て」、「事故相談」等の相談は依然多いが、「家族・人間関係」の相談が徐々に増えてきている様子が伺える。その中には、相談経験のある者が8割近くを占め、相談内容も、日中、身近な地域の相談窓口で対応したほうが積極的な解決につながると考えられる内容であった。しかし、匿名であることや相談したいと思った時にすぐ相談できるのが電話相談の良さでもある。相談内容に応じて必要があれば市町村等へ情報提供をし、連携を常に意識した相談体制の整備を心がけていきたい。
- 3) また、孤立化している育児環境の中、「こんなことを聞いてもいいのだろうか」「この相談はどこにしたらよいか」「聞いてもらえますか」と迷いながらも、身近な相談窓口として電話をかけてくる母も多く見られ、電話相談は大きな役割を果たしている。相談内容は、現在の母子保健のニーズを凝縮していると考えられる。今後も、内容の分析を行い、ニーズへの対応ができるよう情報発信していきたい。
- 4) 相談全体では「利用経験あり」が3,180件(51.7%)であった。主な相談を利用経験の有無で比較すると「育児不安」(79.2%)、「家族人間関係」(74.7%)が「利用経験あり」と高くなっていた。「病気の手当て・対応」(44.1%)や「事故相談」(45.0%)ではわずかに「利用経験なし」が多かったが差は殆んどなかった。昨年度と著変はなく、新型インフルエンザの影響等は特になかった。利用経験ありの割合が高い相談は、1回の相談では解決に至らないため繰り返しの相談利用となっていると思われる。また初回相談で好印象を得た利用者が、心配事に直面した時にこの電話相談を利用していると捉えられる。今後も1つ1つの相談を丁寧に対応できるよう電話相談員の研修等を通じて相談対応に関する知識や、技術の向上を図っていきたい。

表1 市町村別の利用状況

資料

	市町村	件数	出生 1,000対	H2O 出生数		市町村	件数	出生 1,000対	H2O 出生数
1	名古屋市	997	48.7	20,455	32	尾張旭市	50	64.9	770
2	豊田市	382	87.9	4,346	33	あま市	50	56.6	883
3	岡崎市	312	81.5	3,828	34	東郷町	45	98.0	459
4	大府市	277	278.1	996	35	武豊町	44	106.8	412
5	一宮市	269	74.6	3,604	36	愛西市	41	91.3	449
6	安城市	263	124.0	2,121	37	長久手町	39	63.7	612
7	豊橋市	241	69.4	3,475	38	田原市	39	67.4	579
8	春日井市	195	61.3	3,183	39	高浜市	35	73.5	476
9	清須市	178	233.9	761	40	大治町	34	86.7	392
10	刈谷市	176	106.0	1,661	41	豊山町	30	162.2	185
11	東海市	166	138.6	1,198	42	犬山市	23	37.9	607
12	豊川市	147	82.7	1,778	43	幸田町	22	51.3	429
13	日進市	139	137.2	1,013	44	蟹江町	21	63.8	329
14	西尾市	124	124.5	996	45	扶桑町	20	61.2	327
15	知多市	124	154.2	804	46	美浜町	19	122.6	155
16	知立市	113	140.7	803	47	新城市	15	46.3	324
17	半田市	107	93.2	1,148	48	吉良町	15	78.9	190
18	稲沢市	105	89.8	1,169	49	一色町	14	73.3	191
19	豊明市	95	164.4	578	50	阿久比町	11	52.1	211
20	津島市	83	154.3	538	51	南知多町	7	53.8	130
21	瀬戸市	82	84.5	970	52	飛島村	5	166.7	30
22	北名古屋市	78	86.4	903	53	幡豆町	3	38.5	78
23	常滑市	77	176.6	436	54	大口町	2	7.9	252
24	弥富市	70	164.7	425	55	設楽町	2	90.9	22
25	碧南市	67	91.8	730	56	東栄町	2	166.7	12
26	蒲郡市	66	104.1	634	57	豊根村	0	0.0	4
27	小牧市	63	46.1	1,368		県内不明	51	1.0	50,574
28	東浦町	57	127.2	448		愛知県下 (含名古屋市)	5,854	82.4	71,029
29	みよし市	57	74.6	764		他県	111		
30	江南市	53	59.6	889		不明	188		
31	岩倉市	52	104.2	499		合計	6,153		

表2 年度別経路

経路	利用経 験あり	市町村 (保健福 祉)	母子健 康手帳	医療機 関	保健所	友人・ 知人	ホーム ページ	子育て支 援 センター	院内	幼稚園・ 保育園 等	学校	児童相 談セン ター	その他	不明	計
14年度※	105	2492	128	328	475	66	25	37	53	52	3	19	155	908	4846
	(2.2)	(51.4)	(2.6)	(6.8)	(9.8)	(1.4)	(0.5)	(0.8)	(1.1)	(1.1)	(0.1)	(0.3)	(3.6)	(18.7)	(100.0)
15年度	501	2,500	322	63	667	113	36	16	8	667	49	16	204	430	5,488
	(9.1)	(45.6)	(5.9)	(1.1)	(9.8)	(2.1)	(0.7)	(0.3)	(0.1)	(12.2)	(0.9)	(0.4)	(3.7)	(7.8)	(100.0)
16年度	2290	1414	517	377	565	119	74	35	80	21	5	10	220	448	6175
	(37.1)	(22.9)	(8.4)	(6.1)	(9.1)	(1.9)	(1.2)	(0.6)	(1.3)	(0.3)	(0.1)	(0.2)	(3.6)	(7.3)	(100.0)
17年度	3,124	854	661	303	376	102	76	24	69	19	11	7	175	677	6,478
	(48.2)	(13.2)	(10.2)	(4.7)	(5.8)	(1.6)	(1.2)	(0.4)	(1.1)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(2.6)	(10.4)	(100.0)
18年度	3,652	821	611	343	340	118	81	43	32	6	4	9	121	554	6,735
	(54.2)	(12.2)	(9.1)	(5.1)	(5.0)	(1.8)	(1.2)	(0.6)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(1.8)	(8.2)	(100.0)
19年度	3,429	821	666	379	387	120	112	35	45	7	2	4	52	412	6,471
	(53.0)	(12.7)	(10.3)	(5.9)	(6.0)	(1.9)	(1.7)	(0.5)	(0.7)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.8)	(6.4)	(100.0)
20年度	3,276	796	665	315	383	80	129	40	35	3	3	3	74	492	6,294
	(52.0)	(12.6)	(10.6)	(5.0)	(6.1)	(1.3)	(2.0)	(0.6)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.2)	(7.8)	(100.0)
21年度	3,180	832	725	297	382	84	135	23	13	7	4	3	52	416	6,153
	(51.7)	(13.5)	(11.8)	(4.8)	(6.2)	(1.4)	(2.2)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.8)	(100.0)

※13年11月から15年3月までの集計値

表3 相談者の続柄

相談者続柄	件数	
母	5,688	92.4%
本人	295	4.7%
父	126	2.0%
祖父母等	24	0.4%
配偶者	8	0.1%
きょうだい	0	0.0%
専門家等	0	0.0%
その他	6	0.1%
不明	6	0.1%
合計	6,153	97.8%

表4 相談対象者

	件数	
子ども	5,828	94.7%
本人	289	4.6%
孫・甥・姪等	24	0.4%
配偶者	0	0.0%
きょうだい	0	0.0%
患者等	0	0.0%
その他	8	0.1%
不明	4	0.1%
総計	6,153	97.8%

表5 時間帯と所要時間

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	不明	合計
5分未満	336 21.7%	343 23.2%	424 26.5%	430 28.2%	2 28.6%	1,535 24.9%
5～14分	806 52.1%	800 54.2%	874 54.7%	834 54.7%	5 71.4%	3,319 53.9%
15～29分	274 17.7%	240 16.3%	211 13.2%	197 12.9%	0 0.0%	922 15.0%
30～44分	76 4.9%	48 3.3%	62 3.9%	47 3.1%	0 0.0%	233 3.8%
45～59分	31 2.0%	26 1.8%	19 1.2%	15 1.0%	0 0.0%	91 1.5%
60分以上	24 1.6%	19 1.2%	7 0.5%	3 0.2%	0 0.0%	53 0.8%
全体	1,547 25.1%	1,476 24.0%	1,597 26.0%	1,526 24.8%	7 0.1%	6,153 100.0%

表6 曜日別状況

件数(平均件数)

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	月曜日	全体
H15年度以前	2,802 19.3%	3,162 21.8%	3,341 23.1%	3,037 21.0%	502 3.5%	1,684 11.6%	14,492 100.0%
H16年度	1,264 20.5%	1,423 23.0%	1,349 21.8%	1,277 20.7%	862 14.0%		6,175 100.0%
H17年度	1,359 21.0%	1,438 22.2%	1,349 20.8%	1,267 19.6%	1,065 16.4%		6,478 100.0%
H18年度	1,289 19.1%	1,425 21.2%	1,506 22.4%	1,320 19.6%	1,195 17.7%		6,735 100.0%
H19年度	1,221 18.9%	1,480 22.9%	1,395 21.6%	1,262 19.5%	1,113 17.2%		6,471 100.0%
H20年度 (1日平均件数)	1,160 (27.6) 18.4%	1,365 (27.9) 21.7%	1,406 (27.6) 22.3%	1,223 (24.5) 19.4%	1,137 (22.3) 18.1%		6,294 (25.9) 100.0%
H21年度 (1日平均件数)	1,159 (27.0) 18.8%	1,321 (27.5) 21.5%	1,301 (27.1) 21.1%	1,255 (24.6) 20.4%	1,117 (21.9) 18.2%		6,153 (25.5) 100.0%

※H15.4以前は月曜日～金曜日で実施

※H15.5以降は火曜日～土曜日で実施

表7 相談分類

相談分類	件数	
育児相談	5,868	95.4%
母性相談	110	1.8%
女性の心と体の相談	96	1.6%
思春期相談	9	0.1%
その他	70	1.1%
合計	6,153	100.0%

表8 育児相談の曜日別状況

内容	全体		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
子供の病気、手当	2,714	46.3%	450	40.8%	575	44.5%	570	45.6%	505	42.4%	614	57.9%
事故相談	752	12.8%	139	12.6%	180	13.9%	166	13.3%	148	12.4%	119	11.2%
日常生活	469	8.0%	90	8.2%	131	10.1%	82	6.6%	111	9.3%	55	5.2%
授乳	405	6.9%	76	6.9%	77	6.0%	82	6.6%	85	7.1%	85	8.0%
家族・人間関係	523	8.9%	115	10.4%	104	8.1%	127	10.2%	117	9.8%	60	5.7%
発育・発達	193	3.3%	50	4.5%	31	2.4%	42	3.4%	42	3.5%	28	2.6%
食事に関する問題	205	3.5%	40	3.6%	46	3.6%	49	3.9%	45	3.8%	25	2.4%
性格、行動、社会性	245	4.2%	61	5.5%	44	3.4%	55	4.4%	56	4.7%	29	2.7%
予防接種	198	3.4%	45	4.1%	36	2.8%	40	3.2%	47	3.9%	30	2.8%
教育	77	1.3%	18	1.6%	16	1.2%	21	1.7%	19	1.6%	3	0.3%
社会資源の活用	10	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	2	0.2%	4	0.3%	2	0.2%
虐待・虐待予防	29	0.5%	7	0.6%	5	0.4%	6	0.5%	4	0.3%	7	0.7%
アレルギーに関する問題	35	0.6%	5	0.5%	17	1.3%	6	0.5%	4	0.3%	3	0.3%
その他	13	0.2%	4	0.4%	3	0.2%	1	0.1%	4	0.3%	1	0.1%
計	5,868	100.0%	1,102	100.0%	1,265	98.0%	1,249	100.0%	1,191	100.0%	1,061	100.0%

表9 育児相談(5,868件)の主な内容

	①	件数	②	件数	③	件数	④	件数
	子供の病気、手当	2,714 (44.1%)	事故相談	752 (12.2%)	日常生活	469 (7.6%)	家族・人間関係	523 (8.5%)
主な内容	かぜの症状	998	誤飲・誤嚥	287	泣き	113	育児不安	347
	消化器症状	593	転落	157	睡眠	71	家族内の人間関係	91
	皮膚症状	359	転倒	105	トイレトレーニング	46	近所との付き合い方	65
	感染症	192	衝突	93	しつけ	40	職場関係	9
	耳鼻咽喉症状	97	熱傷	32	入浴・清潔	36		

	⑤	件数	⑥	件数	⑦	件数	⑧	件数
	授乳	405 (6.6%)	性格、行動、社会性	245 (4.0%)	食事に関する問題	205 (3.3%)	予防接種	189 (3.2%)
主な内容	授乳方法	125	言うことを聞かない	83	離乳食・幼児食	83	副反応	95
	吐乳、溢乳	58	習癖	29	飲まない、食べない	48	接種時期・方法	57
	断乳	52	友達と遊べない	28	食事のしつけ	29	効果	25
	乳汁を飲まない	40	落ち着きがない	12	離乳準備	10		
			分離不安	12	食べすぎ	8		

	⑨	件数	⑩	件数	⑪	件数	⑫	件数
	発育・発達	193 (3.1%)	教育	77 (1.3%)	アレルギーに関する問題	35 (0.6%)	虐待・虐待予防	13 (0.2%)
主な内容	発育の評価	66	幼稚園、保育園	47	食物アレルギー	24	親への支援	6
	言語発達	37	小学校	24	気管支喘息	4	子どもへの虐待	6
	精神発達	29			花粉症	2		
	運動発達	15			アレルギー疾患	1		
	体重増加不良	14						

	⑬	件数
	社会資源の活用	27 (0.4%)
主な内容	子育て支援	15

編集 あいち小児保健医療総合センター
保健センター保健室
〒474-8710 大府市森岡町尾坂田 1 番 2
TEL 0562-43-0500 内線 4042
発行 平成 22 年 4 月